

「岩屋獣」ロボット競技で優勝 ロボット研究部 努力が実り全国大会へ

H30 ロボットコンクール 県大会



▶ロボットと息を合わせ

九月二十二日に鹿町工業高校体育館で行われた高校ロボットコンクール県大会。ロボット競技とマイコン競技部門で優勝し、全国大会出場を決めました。

ロボット競技 二年ぶりの優勝

ロボット競技には長崎工業・佐世保工業・大村工業の三校から五チームが出場。本校からは「岩屋獣」と「岩屋獣MKII」の二台が出ました。



▶細かい操縦

今年の競技コースは毎年課題が異なるロボット競技。今年も全国大会が開催される山口県にちなんで、親機は山口県の名産品であるみかんをテーマにした見立てるなメカホンに見立てるなど指定の道具を制限時間内に決められた場所へどれだけ運べるかを競う。



▲一年生チームも頑張りました

一方、子機は山口県橋の上にある管をいくつ外に押し出すかを競うという課題です。

大会の様子

事前のインタビューで「入賞して全国大会に出たい」と話していた部長のM3溝口颯太さん。会場内では皆が競技中のロボットに夢中で、点が入るたびに歓声が上がっていました。

「岩屋獣」は子機は上手く作動しなかったものの親機が次々に道具を運び得点を重ねることができ、見事優勝し、全国大会出場が決定。一年生メインの「岩屋獣MKII」も力及ばず予選敗退でしたが、競技後、部長の溝口さんに入賞して全国大会に出場することができたが、優勝する大会では、優勝予選突破することに努めた。

スマホに 負けないために

皆さんはパソコンやスマートフォンを購入時にスマートフォンを推奨されていますか。スマートフォンはインターネットを利用する上で、セキュリティ対策は欠かせません。その一つとしてあるのが主にインターネット上のウェブページなどを一定の基準で評価判断し、危険と判断したものはブロックするフィルターリング

機能です。今、私たちの多くがスマートフォンを持っていきます。自分の手の中に収まるスマホ。その誘惑に打ち勝つのはなかなか難しいものです。初めから使おうとするのではなく、私の中一歩のとき友人からの勧めでLINEをはじめました。目の前に居なくても簡単な文章を送るだけで会話できることが面白くて、家に帰ると視線はずっとスマートフォンに釘付けで勉強がおろそかになってしまっています。

みなさんも同じような経験があると思います。何かに夢中になるともつと面白いものがあるのではないかと、どんどん進んでいってしまうのも自然な流れです。小学生までもが自分のスマートフォンを所持する現代。楽しい、便利だけに惹かれて、どんどん使っていくときには、その先にキケンが待ち受けているなど考えないこともよくあります。だから、そのフィルターリングが求められているのです。

スマートフォン使用のルールを決めるという場合「何時まで」といった制限。しかし、それと同時に大切なものが「何をしてもいいのかわからない」ということではないでしょうか。親の世代と違って私たちは幼い頃からインターネットに触れています。そんな私たちからこそ、ネットの付き合い方について光と影の両面から考えることで、より良いものを出せるようにしたいです。(渡部)



▲優勝旗授与の瞬間

予期せぬ アクシデントで…… マイコンカー競技

一年生部員が製作した三台がエントリーしていたマイコンカーラリー競技で優勝できるような力を発揮。まずはマイコン

「顧問を務める岩田充広先生は「大会に向けて長い時間をかけて準備してきた。県大会では練習のときのパフォーマンスを発揮することができなかったが、優勝することができてよかった。」と、全国大会では機体の性能を十分に発揮し、決勝に進めるよう頑張ろう」と、全国大会を見据えて話してくださいました。全国大会に向けて操縦の練習や機体の細かい調整に取り組みロボット研究部。全国大会での健闘を祈っています。

今日の一枚

学校探検

知らぬ道
歩く気分は
探検家

今日の一枚はロボコン、マイコンの写真です。鹿町工業高校の写真です。鹿町工業高校の取材へ行つたとき、私たちが取材したとき、他の学校の取材先が工業系の学校であれば、様々な学科の教室を探すと、主な目的は、長崎には無い学科「G科（土木技術科）」の教室を発見しました。

青春日記

体育祭お疲れさまでした。総合優勝した建築科のみならず、おめでとうございませぬ。次号で体育祭について各学科の想いなどを伝える予定です。前号に書いた通り、私はMs&Mrドーナツ、大障害走、各対抗リレーに出場しました。その中で一番印象に残ったのはやはり、最終組で走った大障害走です。新聞部の先輩方も出場したこの伝統競技に参加できた、あわせては、ただ走らなければいけない、楽しみなだけではない、競技に憧れていました。高校の体育祭プログラムラスト2を同じ組の人と最後まで楽しむことができた。順位は六位でしたが、悔しいはありませぬ。悔しかった、そこで「ああ楽しかった」と余韻を楽しんで。ところが、大会当日レース前の車検が合格しないなどのアクシデントがあり、残念ながら三台とも成果を発揮することができませぬ。九州大会は各校一台は出場できる枠がある。そして、ポスターの部

▼1年生製作の マイコンカー



コンカーの完成を急ぎ話していたD1岩崎広大

秘策で優勝 ロボコン、教員の部 レゴロボットで競う

ロボコンの会場では高校生の競技の前には「教員の部」EV3ロボットデモンストラクション競技も開催されました。出場

▼プロペラで 横の熊を薙ぎ払う



▶熊退治成功!

熊退治成功! 熊退治成功! 熊退治成功!

を退治するも、タイムはいまひとつ。二度目のトライはスタイルを変え、車体にプロペラを付け横に伸ばして走行。直進しつつプロペラで熊を退治し、脅威のスピードでゴール。見事優勝しました。「製作中にプロペラで熊を倒す方法を思いついたときが一番面白かった。想像力、作戦を練ることが大切だと思った」と感想を語ってくれたのは機械科の松本崇志先生。「タフネスCHOKO」号のアイデアは会場を一時にして沸かせていました。

